

1. 小学校特別活動における指導事例

第5学年 学級活動(1) 「係活動」

1. 係活動で育成を目指す資質・能力

係活動は、学級生活の充実と向上のために、児童が創意工夫して主体的に取り組むものである。係活動は児童の自発的、自治的な活動であることから、学級会で話し合い、自分たちの学級が楽しく豊かになるような係を決めるようにするものであるが、年度当初に係活動と当番活動の違いについて指導するなど、教師の意図的な関わりも必要である。

係活動においては、例えば次のとおり資質・能力を育成することが考えられる。

- 集団活動における役割分担の意義や、他者と協働して係活動に取り組む意義や活動の方法を理解し、学級生活の充実に向けて創意工夫を生かした活動に必要な方法を身に付けるようにする。
- 係活動において、学級を楽しく豊かにするために必要な係を出し合い、合意形成によって組織をつくり、創意工夫しながら自主的、実践的に取り組むことができるようにする。
- 学級における係活動を通して身に付けたことを生かして、学級への参画意識を高め、多様な他者と協働して、学級を楽しく豊かにするための活動を見付け、見通しをもったり振り返ったりしながら学級生活の向上を図ろうとする態度を養う。

2. 第5学年及び第6学年の係活動における評価規準（例）

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
みんなで楽しく豊かな学級の生活をつくるために他者と協働して係活動に取り組むことの意義を理解している。 創意工夫を生かした活動に必要な方法を身に付けている。	楽しく豊かな学級の生活をつくるために、必要な係について話し合って合意形成を図り、見通しをもって活動計画を立て、信頼し支え合って実践している。	楽しく豊かな学級の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして係活動に取り組もうとしている。

3. 係活動における「主権者教育の充実」に向けた指導のポイント

- 係活動の組織づくりに当たり、学級生活の充実と向上のために、児童が創意工夫して取り組むことができる係を出し合い、話し合う。設定した係には必ず誰かが所属し、役割を分担しながら協力して実践できるように指導する。これらの指導は、学級生活の充実と向上に向けて、根拠をもって主張するなど、合意形成する力を育成することにもつながる。
- 係活動の活性化に向けて、教師の声掛け、活動時間や活動場所等の確保などの適切な指導を行うことで、児童は、学級の生活や友達のことを考えて活動するという相手意識をもつことができる。これらの指導は、児童の活動意欲を喚起することにつながり、児童一人一人の学級に主体的に参画しようとする力を高めることにもつながる。

係活動は、学級の児童が学級内の仕事を分担処理し、児童の力で学級生活を楽しく豊かにすることをねらいとしている。児童にとって身近な社会である学級をよりよくするため、話し合い、係を決め、児童が自発的、自治的に活動する係活動を通して、主権者として求められる力の育成につなげたい。

※本指導資料では、特に主権者教育の充実を図るための指導のポイントを で示している。

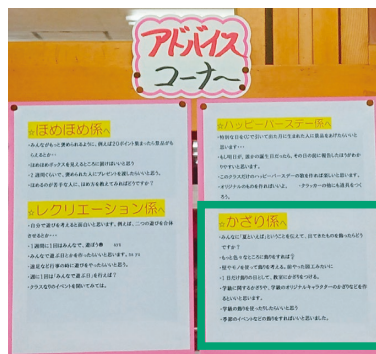
4. 年間を見通した係活動の指導の実際

(1) 第5学年の係活動の年間を見通した活動

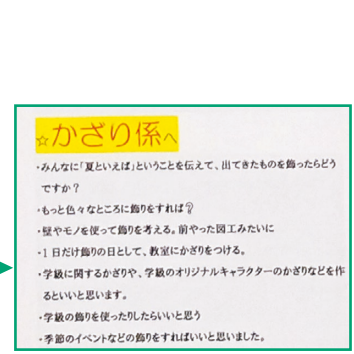
	児童の活動	指導上の留意点
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 係活動オリエンテーションの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・係活動の意義の理解 ・係活動例の紹介 等 ○ 係活動の組織づくり <ul style="list-style-type: none"> ・係の設定・役割分担 ○ 日常の係活動例 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態によっては、年度はじめの時期に当番活動と係活動の違いについて、指導しておくことも考えられる。 ・学級会で話し合い、自分たちの学級が楽しく豊かになるような創意工夫が生かせる係を決められるように助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>係の所属を決める際は、自分の興味・関心だけではなく、学級みんなのことを考えて合意形成することで学級づくりへの参画意識が高まります。</p> </div>
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1学期の係活動の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末等に各係の活動のめあてに合わせて振り返りを行い、互いの活動のよさや頑張りを称賛し合ったり、助言し合ったりする時間を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>所属する係や他の係の活動内容の工夫や改善点などを多面的・多角的に考察し、伝え合うことによって、協働的な活動の高まりも期待できます。</p> </div>
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 係活動の組織づくり <ul style="list-style-type: none"> ・係の内容検討・設定 ・役割分担 ○ 係活動発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の振り返りをICT端末で集約し、資料を教室掲示しておき、学級会で活動内容を再検討したり、創意工夫できる係を設定したりできるようにする。 ・次の課題解決に生かしていくためにも、目指す学級生活の実現や学級生活の充実と向上に向けて、各係がこれまで取り組んできたことやこれからやってみてみたい活動などを発表し合い、それぞれの係の活動内容や取組のよさが伝わるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>各係の取組を発表し合ったり、感想やよかったこと、アドバイスなどを述べ合ったりして活動の活性化を図ることによって、学級の生活づくりへの参画意識の向上につなげることができます。</p> </div>



〔1学期の振り返りの掲示〕



〔各係活動へのアドバイス〕



〔係の取組を紹介している児童〕

二 学 期	○ 2学期の係活動の振り返り	<p style="text-align: center;">〔児童の係活動の振り返り〕</p>	<p>学期末等に係活動を振り返る時間を設定することで、自分たちのよさや頑張り、成長に気付いたり、新たな課題を見いだしたりすることができるようにします。相互評価により、他者と交流を図ることで、協働的に追究し、解決しようとする力を育成することも期待できます。</p>
三 学 期	○ 係活動の組織づくり ・ 係の内容検討・設定 ・ 役割分担 ○ 3学期の係活動の振り返り		

(2) 議題

「5年2組をよりよくするための係を決めよう」

(3) 議題選定の理由

本議題は、2学期のはじめに挙がっていた議題案である。1学期の係活動では、それぞれの係で協力し、創意工夫した取組が行われていた。そんな中、「他の係とも協力したい」「もっと学級生活をよりよくするための係を決めて取り組みたい」という児童の思いから、議題として選定された。学級を楽しく豊かにするためにこれまでの係活動を見直した上で、必要な係を出し合い、よりよく合意形成し、組織をつくることで、児童が活動への見通しをもち、創意工夫しながら自発的、自治的に活動ができるようにする。また、係活動を通して互いのよさに気づき、自分たちの力でよりよい学級生活をつくっていかうとする自治的能力を育てる。

(4) 事前の活動

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
・議題ポストの議題案を確認し、選定する。(計画委員会)	・係活動は、学級会での合意形成によって組織されることを指導し、議題の提案につなげる。	◎係活動の組織づくりへの見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。 【主体的態度】 〈学級会ノート〉 ◎学級生活を楽しく豊かなものにするために、設置したい係や活動内容の工夫を学級会ノートに書いている。 【思考・判断・表現】 〈観察・学級会ノート〉
・議題を決定する。(学級全員)	・計画委員会で選定した議題案を基に、学級全員で決定する。	
・活動計画を作成する。 (提案理由、話し合うこと、決まっていること等を確認する) ・学級会の進行の仕方を確認する。 ・学級活動コーナーに掲示する。(司会グループ)	・事前に、他の係の活動のよさや頑張り、アドバイスを書いたカードを係活動コーナーに掲示したり、1学期の係活動を振り返ったワークシートを見返したりすることで、学級生活の充実と向上につながる係の設置や活動の工夫について考え、学級会ノートに記入しておくようにする。	
・学級会ノートに自分の考えを記入する。(学級全員)		
・学級会ノートを回収して、意見を整理する。(計画委員会)	・学級会ノートに教師からの助言等を記入し、話し合いの意欲を高める。	

(5) 本時の展開

① 本時のねらい

1学期の係活動の振り返りを生かして、学級生活がより楽しく豊かなものになるようにするための係活動について話し合い、合意形成を図り、役割を分担することができる。

② 教師の指導計画

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
1 はじめの言葉 2 歌を歌う 3 司会グループの自己紹介 4 議題の確認 5 提案理由の確認 6 決まっていることの確認	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてをもって自分の役割に臨めるように司会グループに自己紹介の助言をする。 ・学級の歌などを歌うことで、活動の意欲が高まるようにする。 ・提案者の思いや願いを全員が理解し、学級全員の問題であることを確認する。 ・決まっていることを確認する <ol style="list-style-type: none"> ① 協力して工夫できる係にする。 ② 2学期間続けられる係にする。 	<p>係活動のめあて、設置の条件、活動の見直しなどについて、学級全体で共通理解を図ることで、児童一人一人が自分事として考え、主体的に学級会に臨むことができるようになります。</p>
7 話し合い 話し合うこと① 「どんな係にするか」 話し合うこと② 「活動の工夫やアイデアを考えよう」 話し合うこと③ 「分担を決めよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・係活動は、自分の興味・関心に基づいたものだけでなく、学級の生活がより楽しく豊かなものになったり、学級のみんなが過ごしやすくなったりすることを意識して、活動内容や工夫を考えることが大切であることを助言し、係活動を通して、学級のよりよい生活づくりに参画する態度を身に付けることができるようにする。 ・児童の発想を豊かにし、創意工夫した活動となるようにするために、1学期の振り返りやアドバイスなどを事前に教室に掲示し、それらを生かして話し合うことができるようにする。 ・係の所属を決める際は、児童自身の得意なことや個性、よさを生かすとともに、協力して取り組むことが大切であることから、二人から三人以上の所属となるように助言する。 	<p>◎1学期の係活動の経験や振り返りを生かしたり、友達の意見のよさを生かしたりして、係活動の内容や工夫を考えている。</p> <p>◎どんな活動が、より学級生活を楽しく豊かにするか、友達の意見と比べて聞いたり、これまでの活動や経験を踏まえ、根拠を明確にして発言したりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 〈発言・観察〉</p> <p>学級生活の充実と向上のために、児童一人一人が自分のよさを生かしてよりよく合意形成していく経験は、主権者としての意識の涵養につながります。</p>
8 決まったことの発表 9 話し合いの振り返り 10 先生の話 11 おわりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて補足説明する。 ・よかった点や課題について振り返り、相互評価する。 ・終末の助言では、「①前回の話し合いと比べてよかったことや合意形成したことへの称賛、②今後の課題、③司会グループへのねぎらい、④今後の見直しや実践に向けての意欲付け等」について簡潔に述べる。 ・実践への意欲付けを図る言葉掛けを行い、活動の見直しをもつことができるように助言する。 	<p>実践に向けての意欲を高める教師の声掛けが、児童の自発的、自主的な活動を促し、学級生活を自分たちの力でよりよいものにするという参画意識の向上につながります。</p>

(6) 事後の活動

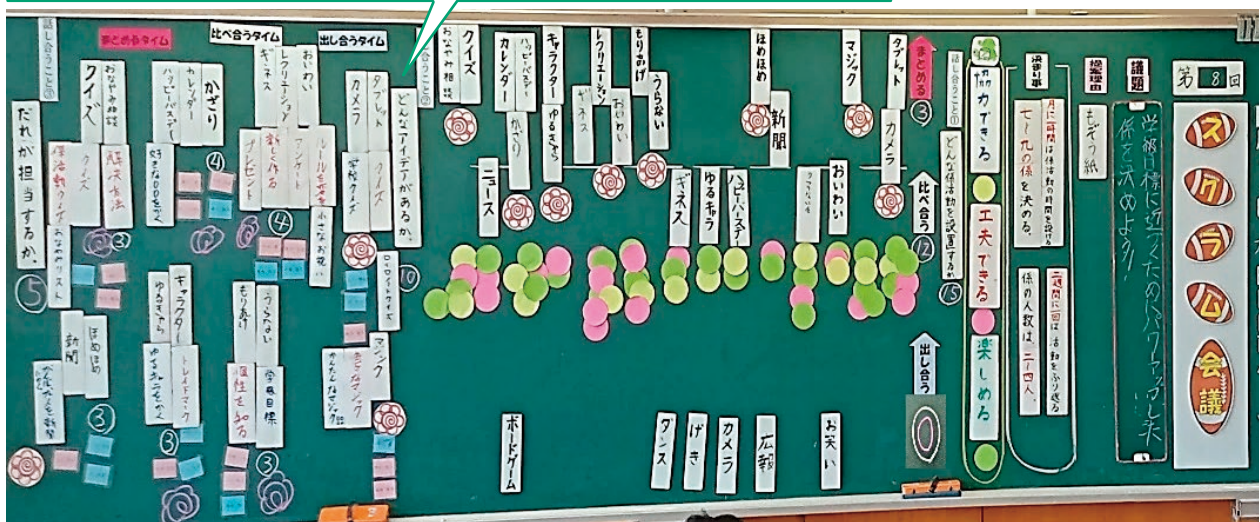
児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
・決まったことを学級活動コーナーに掲示する。	・学級会で決まったことについて、要点をまとめて書いて掲示するよう、司会グループに助言し、学級全体で共通理解を図ることができるようにする。	◎学級を楽しく豊かにするために、友達と協力して係の活動に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 〈観察・学級会ノート〉
・係で協力し合い、活動内容やメンバーの紹介、写真、活動の予告など、工夫して係ポスターを制作する。	・係ごとに創意工夫して活動することができるように指導する。	係のポスターは、児童が自主的に情報を発信して内容を更新できるようにしたり、係へのアドバイスなど交流できるようにしたりすることで、創意工夫した活動につながります。
・定期的に係活動を振り返る。	・めあてや活動計画に基づいて、振り返りを定期的に行うことができるように場や機会を設定し、自分の役割を果たすことができたことや友達のよかったところなどについて認め合うことができるようにする。	◎定期的に活動を振り返り、自他の活動のよさやがんばりに気付いたり、次の活動に生かそうとしたりしている。 【主体的態度】 〈観察・学級会ノート〉

提案理由は、学級会において合意形成を図る上でのよりどころであり、事後の実践においても意識して取り組むことが大切です。提案理由は、提案者の思いや願いを大切にしながら「何のために活動をするのか」「何のために話し合うのか」が明確になるように、事前の計画委員会などで指導・助言を行います。提案理由の中で特に大切にしたい言葉の説明をキーワードやポスターで明確に示すことで、話し合う上で大切にしたいことがはっきりし、児童の学級会への参画意識をより高めることにつながります。



〔提案理由の発表の様子〕

「話し合うこと②」では、「話し合うこと①」で決まった係について、学級生活がより楽しく充実したものとなるようにするための工夫やアイデアを話し合います。これまでの活動経験を基に、活動の工夫やアイデアについて意見を出し合います。出されたアイデアや工夫をそれぞれの係で話し合い、取り入れたり参考にしたりすることで、創意工夫し協力し合って活動しようとする意欲が高まり、自発的、自治的な活動の充実につながります。



〔学級会の板書〕

5. 係活動の活性化を図るための指導の実際

(1) 係活動オリエンテーションの実施

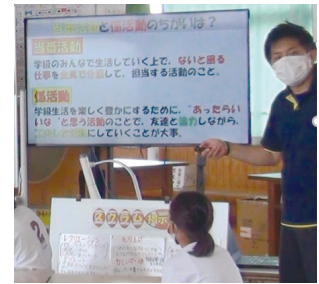
楽しく豊かな学級生活をつくるために、児童が活動内容を創意工夫して取り組むことができるように年度はじめの時期や必要に応じて各学期はじめにも簡単なオリエンテーションを実施する。

① 係活動の意義の説明

- ・係活動と当番活動の違い
- ・所属する学級にとって必要な係を出し合い、学級会で話し合っ決めて
- ・学級会で話し合っ決まった係には、必ず誰かが所属し、複数名で協力して、創意工夫した活動に継続的に取り組むこと

② 発達の段階を踏まえた活動例などの紹介

- ・他の学年や学級の係活動を取材したり、情報を得たりしたことを紹介する。
- ・教師がこれまでに担任した学級の係や自分の経験などを紹介する。



〔オリエンテーションの様子〕

(2) 活動時間の確保の工夫

児童が自発的、自治的に係活動を進めていくためには、係活動を行う時間の確保や場の工夫が必要である。工夫例を以下に示す。

活動時間の確保の工夫例

- 朝の活動の時間や帰りの時間を効果的に活用し、係からの連絡や発表を行うなどして、時間を確保する。
- 昼休みを計画的に活用したり、活動計画を立てたりして、見通しをもって活動することができるようにする。
- 係のメンバーで給食を一緒に食べる日を設定して、活動内容などについて相談できるようにする。

※引用：『特別活動指導資料 みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動【小学校編】』

(平成 30 年, 国立教育政策研究所) p.64

(3) 活動環境の設定

係活動の活性化を図るためには、文房具や用紙など、活動に使うものなどを教師が事前に準備し、自由に使えるようにしたり、児童と相談して用意したりして、活動しやすい環境を整えることが大切である。そうすることで、休み時間などのすき間時間を活用した自発的活動を促すことにもつながる。



〔係活動グッズ〕



〔ICT 端末を活用している様子〕

ICT 端末の活用

事前に学級や学校における ICT 端末の活用のみまりを確認しておきます。

ICT 端末を活用して、活動に必要な資料を検索したり、活動内容等を知らせる資料を作成したり、アンケート機能を活用してアンケートを取り、集計結果を活動の参考にしたりするなど、創意工夫を生かすことができます。

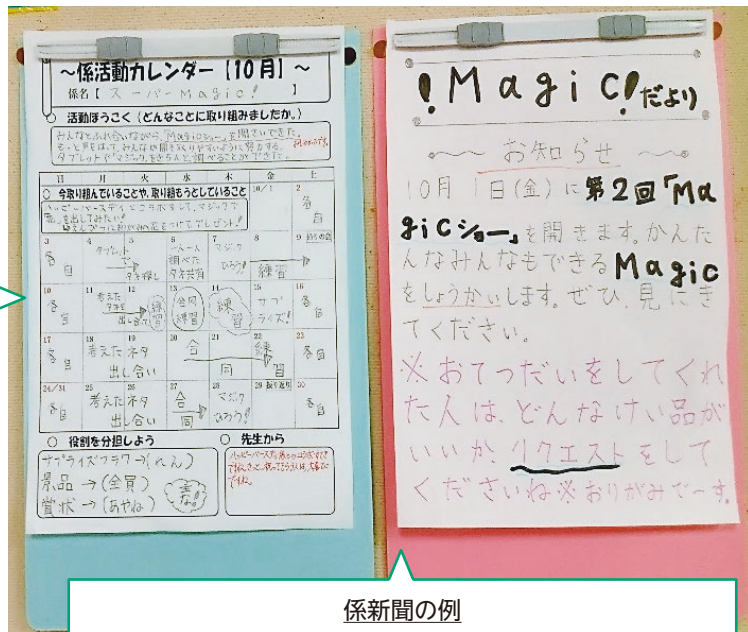
(4) 係活動コーナーの工夫

「係活動コーナー」を設置して、児童が各系の活動の様子や活動予定、係からのお知らせなどを自主的に情報発信したり、情報交換したりできるようにする。

以下に、係活動コーナーの工夫例を示す。

係活動カレンダーの例

月に一度、係ごとに活動計画を立てることも考えられます。カレンダーを活用することで、役割を分担したり、協力したりして、見通しをもちながら主体的に活動を進めることができます。また、2週間に一度、計画を見直す時間を帰りの会等に設定して、学級生活がよりよいものになっているか確認することで、学級への参画意識が高まります。



係新聞の例

係ごとに学級みんなに呼びかける新聞等を掲示できるスペースを確保することで、ほかの系の活動の工夫を参考にすることができ、より創意工夫した活動につながります。



メッセージカードの活用例

学級全体で創意工夫を生かした実践を協力して行うことができるように、係活動コーナーに、「アドバイスカード」・「リクエストカード」・「コラボカード」・「ありがとうカード」などを準備しておくことで、係同士の交流を促すことができます。

さらに、メッセージカードを一つのボードにまとめて貼り、一定期間後は、各係専用のポストボードにカードを入れます。こうすることで、他の系の友達も確認することができ、自己有用感や次の活動への意欲の向上にもつながります。

リクエストカード

たん生日の前の日には
うちあわせをいっぱい
たん生日を祝いませんか

HAPPYキョウ

マジック係

リクエストカード

マジック

マジック係

ありがとうカード

マジック

コロボカード

みんなの誕生日に
たん生を祝いませんか

みんなの誕生日に
たん生を祝いませんか

キョウキョウ係

マジック係

アドバイスカード

マジック

マジック係

コロボカード

マジック

[各係専用のポストボード]

係活動掲示板の例

中・長期的なお知らせやお願いなどは、係新聞を活用します。日常的な連絡に関しては、係活動掲示板を設置しておく効果的です。また、設置しておくことで、連絡の場や機会を保障することができ、活動が活性化し、参画意識を高めることにもつながります。

【実践編】小学校 特別活動

(5) 振り返りを行う際の留意点

振り返りの視点や活動のめあてを明確にした上で、定期的に活動を振り返り、改善に生かしていく。

このような振り返りを通して、協働してよりよい生活を築くことができるようになったり、日々の頑張りを相互評価したりすることで、自己有用感を味わうことができる。

係活動に取り組んだ日付などを記録し、活動の積み重ねが分かるようにすることで、楽しみながら活動でき、学級への参画意識を高めることにつながります。



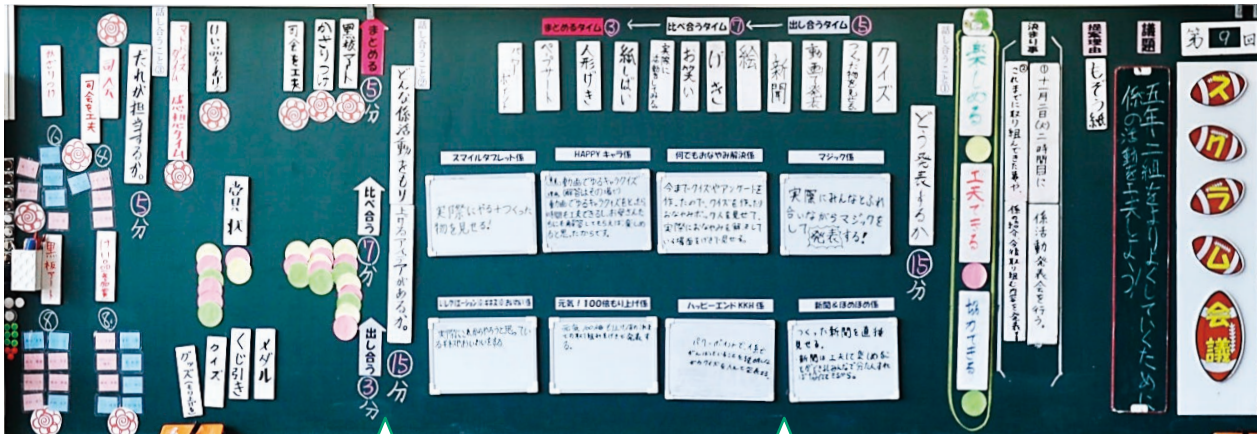
〔資料：係活動カードでの日々の振り返りの工夫〕

(6) 係活動発表会の実施

係活動発表会は、活動の活性化を図る上でも主権者としての意識を涵養する上でも有効である。係ごとに活動を発表し合うことで、児童は互いの係の頑張りを認め合ったり、他の係の活動のよさを取り入れたりすることができ、さらに創意工夫して取り組むことができるようになり、これまで以上に目指す学級生活の実現や学級生活の充実・向上に向けて協力して取り組むようになる。

また、他の係からのアドバイスや、「学級のみんなのために活動できたか」「学級生活の充実と向上に向けて、活動したことが役に立ったか」などの教師が示した視点を基に振り返ることで、今後の活動の充実に生かすことができるようになる。次に、係活動発表会の展開例を紹介する。

① 学級会で「係活動発表会をしよう」や「係の活動を工夫しよう」などの議題で話し合う。



「話し合うこと②」では、係活動発表会を盛り上げるアイデアについて話し合い、「話し合うこと③」で役割分担をします。事後の実践において、創意工夫し、協力して取り組む姿が期待できます。

「話し合うこと①」では、出された発表方法を基に、各係でこれまでの活動を振り返ったり、今後の活動を話し合ったりしながら、それぞれの係に合った係活動発表会での発表方法を合意形成します。その後、全体で発表方法を伝え合うことで、学級への参画意識を高めることにもつながります。

② 係活動発表会に向けて準備をする。



休み時間等を利用して係活動発表会の準備を行い、協働して取り組むことができるようになります。

例えば、ICT端末を活用し、協力して動画を撮影したり、スライドを作成したりすることで、自分たちの活動内容を分かりやすく発表することができます。

③ 係活動発表会を行う。

各係の発表の後に、感想を伝え合ったり、アドバイスしたりすることで、活動の活性化が図られ、創意工夫した活動を行うことができるようになります。また、互いの活動のよさや頑張りを称賛し合うことで、自己有用感が高まり、学級生活への参画意識も更に高まっていきます。



【アドバイスなどを伝えている様子】



【賞状を渡している様子】

④ 係活動発表会の振り返りを行う。

係活動発表会の後に、活動を振り返ることで、自他の頑張りに気付いたり、他の係の活動のよさを取り入れたりする機会となり、次の課題解決に生かすことができます。

“係活動発表会をしよう！”
 月 日 (年)
 ☆ 自分のめあて ☆
 なるべく毎日、7:30の日係活動発表会の準備に取り組む。

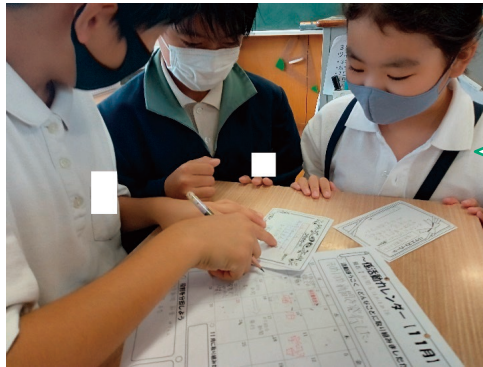
☆☆☆ 活動を振り返りましょう ☆☆☆

☆自分のめあてに向けてがんばりましたか。	☺ ○ ○ △
☆自分の役割に責任をもって取り組むことができましたか。	☺ ○ ○ △
☆友だちと協力して、楽しく活動することができましたか。	☺ ○ ○ △
☆キーワードや提案理由を整理して、係活動発表会ができましたか。	☆ ☺ ○ ○ △
☆友だちのよいところを見つけることができましたか。	☺ ○ ○ △

感想やがんばったことを書きましょう。

自分が準備してきたことがパワーポイントでできうれしか、7:30。おしえてあげて。これは特別ポイントにみんなが見やすいように短くまとめました。

⑤ 係活動発表会でのアドバイス等を基に、日常の係活動に生かす。



【各種カードを参考にして、次の活動の計画を立てている様子】

係活動発表会でのアドバイスや、リクエストカード等の各種カードを参考にしながら、休み時間や帰りの会などの時間を活用して次の活動の計画を立てたり、準備をしたりします。これまで以上に創意工夫された協働的な活動が展開され、さらに学級への参画意識を高めることができます。

6. 実践するに当たっての留意点

(1) 係活動オリエンテーションを行う際の留意点

児童の実態に応じて、学級生活が円滑に運営されていくために、学級の仕事を分担し、担当する活動である当番活動と、学級生活を共に楽しく豊かにするために、児童が仕事を見だし、創意工夫して自主的、実践的に取り組む活動である係活動との違いを児童が理解できるように指導することが大切である。この指導は、児童が学級生活を共に楽しく豊かにするために多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を育成することにもつながる。

(2) 係活動の組織づくりでの留意点

低学年では、学級生活にとって必要な仕事を見付けるなど、当番的な活動から始め、少しずつ創意工夫できる係の活動となるようにする。

また、はじめは一人一人の役割や所属する組織を固定せず、柔軟で弾力性に富んだ組織になるように工夫することで、児童は学級の多くの友達と協働し、よりよい人間関係を形成することができるようになり、創意工夫した活動を展開することにもつながっていく。

(3) 係活動発表会の発表の場の工夫に当たっての留意点

係活動発表会は、5の(6)で紹介した以外にも、休み時間や帰りの会などに、いくつかの係が日替わりで活動内容等を発表したり、学級集会活動について話し合う際に、内容の一つとして係の活動発表の時間を設定したりするなど、学級の実態に合わせて創意工夫することが考えられる。

(4) 係活動における教師の適切な指導についての留意点

係活動は、自発的、自治的な活動だが、児童任せにするのではなく、「学級のみみんなのための活動となっているのか」「係のめあてを達成するための活動なのか」など、教師の適切な声掛けや意図的な指導が必要である。

7. 資料・ワークシート等

係活動の活性化を図るために、児童の発意・発想を生かし、係活動コーナーで各種メッセージカードを交換できるようにしたり、係活動カレンダーに活動計画を記入できるようにしたりすることが考えられる。また、学期ごとに係の活動を振り返り、次の活動に生かすことができるようにすることも大切である。

各種メッセージカード

アドバイスカード

係さんへ

よい

コラボカード

係さんへ

よい

ほめほめカード

係さんへ

よい

リクエストカード

係さんへ

よい

係活動カレンダー

～係活動カレンダー [] 月～

係名 []

活動ほうこく (どんなことに取り組みましたか。)

今取り組んでいることや、取り組もうとしていること

月	火	水	木	金

役割を分担しよう 先生から

学期ごとの振り返りカード

1 学期 係活動がんばりカード 月 日 ()

名前 []

♥ 1学期の係活動のめあて

↓

♥ 1学期の係活動でがんばること

♥ 1学期の係活動をふいかえろう

- 楽しく豊かな学級生活をつくるために取り組むことができましたか。 (◎ ○ △)
- 自分から進んで係活動に取り組むことができましたか。 (◎ ○ △)
- 見通しをもって活動計画を立て、取り組むことができましたか。 (◎ ○ △)
- 活動を振り返りながら、工夫して取り組むことができましたか。 (◎ ○ △)

♥ がんばったこと、うれしかったこと、学んだこと

♥ これからがんばりたいこと